

令和 7 事業年度

決算報告書

【第22期】

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

国立大学法人 お茶の水女子大学

令和7年度 決算報告書

国立大学法人お茶の水女子大学

(単位: 百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	4,355	4,658	303	(注1)
うち補正予算による追加	-	188	188	
施設整備費補助金	437	351	△ 84	(注2)
補助金等収入	132	367	235	(注3)
自己収入	2,083	2,043	△ 39	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,836	1,585	△ 250	(注4)
雑収入	247	457	210	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	877	1,538	661	(注6)
引当金取崩	-	0	0	(注7)
目的積立金取崩	312	27	△ 284	(注8)
計	8,196	8,987	791	
支 出				
業務費	6,799	6,817	18	
教育研究経費	6,799	6,817	18	(注9)
施設整備費	437	351	△ 84	(注10)
補助金等	83	154	70	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	877	939	62	(注12)
計	8,196	8,263	67	
収入 - 支出	-	724	724	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった教育・研究基盤の維持に係る補正予算等が交付されたため、予算額に比して決算額が303百万円増額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、受入額の減少により、予算額に比して決算額が84百万円減額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、授業料等減免費交付金が205百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。また、受入額の増加により、予算額に比して決算額が235百万円増額となっています。
- (注4) 授業料及び入学金及び検定料収入については、受入額の減少により、予算額に比して決算額が250百万円減額となっています。
- (注5) 雑収入については、財産貸付料等の増加に努めたことにより、予算額に比して決算額が210百万円増額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入については、受託研究の受入額の増加により、予算額に比して決算額が105百万円増額となっています。寄附金収入等については、寄附の獲得に努めたことにより、予算額に対して決算額が556百万円増額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、予算額に比して決算額が0百万円増額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、取崩額の減少により、予算額に比して決算額が284百万円減額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、予算額に比して決算額が18百万円増額となっています。
- (注10) 注2に示した理由により予算額に比して決算額が84百万円減額となっています。
- (注11) 補助金については、前年度繰越の執行額が増加したことにより、予算額に比して決算額が70百万円増額となっています。
- (注12) 注6に示した理由により、予算額に比して決算額が62百万円増額となっています。